

第2回 災害対策委員会を開催しました！

9月2日（木曜日）2021年度 第2回災害対策委員会として、ウェブ会議システムを使用し、『日本赤十字社千葉県支部と千葉県災害対策委員会との懇談会』を開催しました。日本赤十字社千葉県支部、千葉県生協連災害対策委員、事務局など合わせて18名の参加がありました。

日本赤十字社千葉県支部の活動について、木島救護係長から以下の報告がありました。

①令和2年度における日本赤十字社千葉県支部の活動について

コロナウイルス感染症や大規模広域災害の発生に備え、医療救護を担う赤十字看護師の育成、災害ボランティアの運営能力強化などの支援する人の育成、被災者ニーズに応じた救援物資の見直し、少子高齢者社会への対応、障害者へのサポート強化など災害が発生しても迅速に対応するために災害救護体制の充実と強化をしています。



報告者 木島係長

新型コロナウイルス感染症禍で地域医療を支える活動について医療チームの派遣、成田赤十字病院の受入対応状況について報告がありました。

②令和3年7月1日からの大雨による日本赤十字社の対応について

静岡県熱海市を中心とした広範囲の大雨災害で日本赤十字社の職員の派遣、救護物資の配布、赤十字ボランティアの活動、義援金の受付などについて報告がありました。

③第42回九都県市合同防災訓練（千葉会場）における応急救護設置運営訓練について

被害が広域に渡る大地震を想定した現場での応急救護所設置、運営訓練と緊急物資搬送訓練について説明がありました。

その後災害ボランティアの募集や活動について、コロナ禍で災害が起きた時の避難所での対応、昨年11月25日災害救援物資搬送訓練に参加しての感想など、意見交換がされました。

各生協からは、「新型コロナウイルス対策会議を月1回開催して、感染状況の確認と対策をおこなっている」、「新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した組合員活動のガイドラインや対応マニュアルに基づき感染防止対策を継続している」、「災害時に備え発電機、簡易トイレ、乾パン、水の常備、配送センターエリアのハザードマップを作成している」、「時差出勤や在宅勤務など職員が密にならないよう注意をしている」などの報告がありました。

日本生協連からは、2021年8月の大雨災害について各生協での被害状況と物資支援についての報告と大雨災害支援募金の呼びかけがありました。

